



佐伯さくら号セダン 佐伯さくら号ジャンボ 吉和さくらバス

# デマンド交通で、出掛けませんか

問合せ 都市計画課 交通政策係 ☎9178

## デマンド交通とは

デマンド交通は、事前に利用登録された方の電話による利用予約を受け、バス停ではなく自宅やその付近などから、病院や商業施設などの特定の目的地までの移動を、バス並みの料金で利用できる利用者に優しい新しい公共交通サービスです。

昨年12月から、佐伯地域および吉和地域で実証運行を実施しています。

### 利用対象者を拡大

これまで利用対象者は、佐伯地域および吉和地域の利用対象地区（吉和は全域）の人に限定していましたが、7月から利用対象地区内の目的地への移動は、どなたでも利用できるようになりました。

例1 沿岸部から路線バスに乗ってきた人が、幹線沿いの主な乗降場所から利用対象地区内の施設や観光名所への移動に利用

例2 佐伯地域の利用対象地区以外（幹線沿いの地区など）の人が、幹線沿いの主な乗降場所から利用対象地区内の友人宅への移動に利用

※幹線沿いの公共施設や病院、商業施設などを主な乗降場所としてあらかじめ設定しています

### 運行時間の確認

デマンド交通では、各路線ごとに曜日運行しており、利用対象地区内の自治会単位ごとに一定の運行時間帯が設けられているため、目的地への運行曜日や運行時間を市ホームページまたは問い合わせにより事前に確認してください。

### まずは電話予約を

利用対象地区以外の方は、主な乗降場所から乗車することがルールのため、事前の利用登録は必要ありません。乗車した車内で、所定の用紙に住所、名前、連絡先などの必要事項を記入してください。

運行事業者への電話予約の際に、乗車時刻や主な乗降場所について十分に確認をしてください。

運行事業者	電話番号	運行路線
佐伯交通(有)	④1334	玖島線、友田・河津原線、所山線
(有)津田交通	⑦0360	浅原線、飯山・中道線、花上線、吉和線

### ダイヤ改正など

佐伯地域の花上線のダイヤを8月から一部改正します。運行時刻に注意してください。

吉和地域では、これまで上吉和線、下吉和線に分けていた路線を吉和線として、全域運行化します。吉和線は、吉和支所でも予約受付しているので、気軽に予約してください。乗降場所や運行時間など、詳しくは、市ホームページをご覧ください。

## 噛み合わせ・噛むことの不思議



佐伯歯科医師会  
かやだ・よしあき  
茅田 義明先生

でしょうか。

原因不明のイライラや疲労感、食事でも喉を通らず、歩くことも仕事をすることもできなかった人が、噛み合わせの具合を治して、快活な日々を取り戻したというような話を歯科の世界では時折耳にします。このような特殊な場合ではなくても、病氣や手術、あるいは老衰で弱った人が、胃や血管に管で栄養を直接送り込んでいたのを、口から食事をするように変えた途端に、見違えるように元気になる、肌の艶や血色を取り戻すというようなことは、本人として家族として、実際に経験し、実感された人もいないのではない

噛むことは、単に食物を細かくすることが目的ではありません。聖路加国際病院の日野原重明先生が、「兄ちゃん」と慕う福岡の知的障害児施設の園長、昇地三郎さんは、「一口三十回噛みなさい」という母の教えを百年以上も守り続けてお元気です。物をよく噛めば、満腹中枢を含む脳を刺激し、肥満の解消にもなります。「噛むことが胃酸の分泌や腸が栄養を吸収する準備を促がすのだ」と著書「生物と無生物のあいだ」で話題になった青山学院大学の福岡伸一教授は言います。確かに、長く

## なるほど!!健康講座

問合せ 廿日市市保健センター ☎1610

口から栄養を摂らずにいると腸の粘膜は萎縮してしまいます。また、低出生体重児の胃に鼻から管を入れて栄養を流し込むときに、おしゃぶりをくわえさせて、口をもぐもぐ動かす方が体重の増加も早く、排便もスムーズになるという報告もあります。

今では、昔のように「みそっぱ」のすき間のあいた乳歯の子どもが少なくなってきました。繊維質が多く噛みごたえのある、ごぼうやにんじんなどの野菜を、小さなうちから口にくわえてしっかり噛ませ、顎や筋肉の発達を促がすことが減って、顎がきしゃしゃになり、乳歯が窮屈にしか並ばなくなったのです。それが、永久歯の歯並びの乱れにもつながっていきます。

きしゃしゃな顎では、舌を納めておく下顎の空間も狭くなり、舌が後方ののどに押されて落ち込み、睡眠時無呼吸症候群の原因の一つになると考えられています。これはイビキがひどくて呼吸が止まってしまい、放置すると血管や心臓、脳などの障害まで引き起こすこともある病氣です。

噛み合わせが良いことが、しっかりと噛むことの基本になることは言うまでもありません。

## みんなが手をつなぐために

「平和」と「平和問題」について、考えてみませんか

平成11年9月20日、科学者の代表機関である「日本学術会議」の「科学技術の発展と新たな平和問題特別委員会」から審議の成果が報告されました。それによると、「平和とは、人間の尊厳が認められ、生命の安全が保障されること」によって、個人の可能性が最大限に生かされるような人々の状態を指す」と、と最広義に理解し、「平和問題」とは、そのような平和をめぐる状況および課題のことであるとしています。また、新しい21世紀を迎えようとする現時点で、平和問題が人類死活の課題となっており、その中で、「新たな平和問題（戦争以外の諸力によって引き起こされる問題で、健康破壊や地球環境破壊などを指す）」の意義が強調されるようになっていく。しかし、伝統的な平和問題（戦争という直接的暴力が存在している状態）も決して消失してはいない。現実には、20世紀末の平和問題は、これら二つの平和問題の総和であり、両者は密接に関連している」としています。

### 新たな平和問題（原子力発電所事故）

さらにこの報告書によると、核について、次の2つの問題を指摘しています。1つ目は、伝統的

な平和問題である「核兵器」に関することです。2つ目は、新たな平和問題である「原子力の平和利用」に関することです。そして、核兵器の問題は大量殺りく兵器としての問題と放射能被曝の問題があり、原子力発電では事故による被曝の問題と原子力発電から生じる大量の核廃棄物の問題があるとしています。

そうした状況の中、昨年3月11日に東日本大震災と併せて東京電力福島第一原子力発電所の事故が起こりました。その惨状は、67年前の広島のをほうふつさせるものであり、今なお続いている放射線の脅威は、被災者をはじめ、多くの人々を不安に陥れ、原子力発電に対する国民の信頼を根底から崩してしまいました。

### 核問題の解決をめざして

私たちが平和を願い、平和な社会を創造していくことを考えるとき、広島や長崎の被爆体験と福島第一原子力発電所の事故などをともに話し合うことで、被爆の惨禍を記憶し続けることは重要なことです。

これまで原爆は「悪」、原発は平和利用であるから「善」という論調が大勢で、科学技術の進展に関しては、「善」の部分のみが強調されがちでした。特に核の平和利用に関しては、「負の部分に関する情報開示」が不十分であったと思われる。「核と人類は共存できない」との思いから脱原発を主張する考え方、あるいは、原子力管理の一層の厳格化とともに、再生可能エネルギーの活用を訴える考え方などが問題提起をしています。将来への負の遺産を少なくするために、私たちにできることとして、これらの情報をもとに、もう一度「平和」や「平和問題」について自分自身に問いかけてみませんか。

この欄は、市民と市職員が構成する「広報人権問題シリーズ編集委員会」が編集しています

問合せ 人権・男女共同推進課  
啓発・推進係 ☎9136